

会社の概要 (平成28年9月30日現在)

商号 日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)
 本社所在地 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)
 東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)
 新宿グリーンタワービル20階
 創業 大正3年4月5日
 設立 昭和16年12月11日
 資本金 140億7,496万5,448円
 従業員数 826名
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)
 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,979千株	9.85%
株式会社三井住友銀行	4,252	3.81
日本山村硝子取引先持株会	4,117	3.69
旭硝子株式会社	3,836	3.44
クリアストリーム パンキング エス エー	3,250	2.91
グレイスイスルセンアルプ エスエー カスタマー セツツ フランス ユーシツツ	3,232	2.89
山村幸治	3,049	2.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,962	2.65
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,944	2.64
日本生命保険相互会社	2,842	2.55

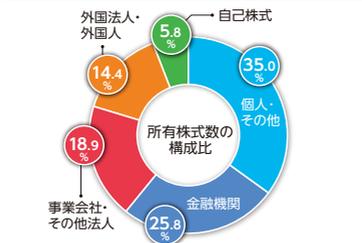
(注)1. 当社は、平成28年9月30日現在、自己株式6,491千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数には、信託業務にかかる持株数が含まれております。
 3. 所有株式数は、表示単位で切捨て表示しております。

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数	300,000千株
発行済株式の総数	111,452千株
株主数	9,170名
単元株式数	1,000株

所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	8,776名	39,061千株
金融機関	33	28,756
事業会社・その他法人	264	21,074
外国法人・外国人	96	16,068
自己株式	1	6,491
合計	9,170名	111,452千株



役員 (平成28年9月30日現在)

取締役・監査役
 代表取締役社長 山村 幸治 (最高経営責任者 最高執行責任者)
 専務取締役 谷上 嘉規 (環境室管理 コーポレート本部管理 研究開発センター管理 ニューガラスカンパニー管理)
 取締役 上高 雄樹 (サンミグル山村パッケージング社駐在(同社取締役副社長))
 取締役 井上 善雄 (株式会社山製紙所 代表取締役社長(社外取締役・独立役員))
 常勤監査役 鳥居 豊彦
 監査役 齋藤 好江 (公認会計士(社外監査役・独立役員))
 監査役 高坂 佳郁子 (弁護士(社外監査役・独立役員))

執行役員
 執行役員 水田 好彦 (コーポレート本部長)
 執行役員 明神 裕 (ガラスびんカンパニー社長)
 執行役員 神田 信一 (ガラスびんカンパニー 営業本部長)
 執行役員 小林 史吉 (プラスチックカンパニー社長)
 執行役員 植田 光夫 (山村硝子株式会社 代表取締役社長)

証券コード(5210)

第88期 第2四半期

株主のみなさまへ

決算ご報告

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

世界のYAMAMURAへ
— 心と技術を伝えたい —

日本山村硝子株式会社
<http://www.yamamura.co.jp/>

買取・買増制度をご利用ください



中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきましては、当社ホームページにてご案内させていただいております。
 ご確認くださいませようお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://yamamura.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式		お問合せ先
お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)

○証券会社等の口座に記録された株式		お問合せ先
お手続き、ご照会等の内容	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等		

(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主のみなさまへ

第2四半期決算ご報告および中間配当金関係書類送付ご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第88期第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。

また、「第88期中間配当金のお支払い」に関する書類も同封させていただきます。

ご査収くださいますようお願い申し上げます。

敬具
平成28年12月

中間配当金のお支払いについて

中間配当金の払渡期間は平成28年12月2日(金)から平成29年1月4日(水)まででございます。同封の「中間配当金領収書」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店ならびに郵便局で、お忘れなく受け取りくださいますようお願い申し上げます。

なお、口座振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」および「配当金振込先のご確認書」を同封しておりますので、ご指定口座への入金をご確認ください。



代表取締役社長 山村幸治



この決算ご報告はFSC®認証紙と大豆油インキを使用して印刷しております。

連結業績ダイジェスト

売上高
35,402百万円

ガラスびん関連事業では、中国の子会社 秦皇島方圓包装玻璃有限公司において為替が円高に振れた影響や、国内ガラスびん需要が前年同期比で減少傾向にあった影響、また、物流関連事業では、取引先の業務再編による営業所統廃合や、取り扱い物量の減少等により、売上高は35,402百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

営業利益
1,561百万円

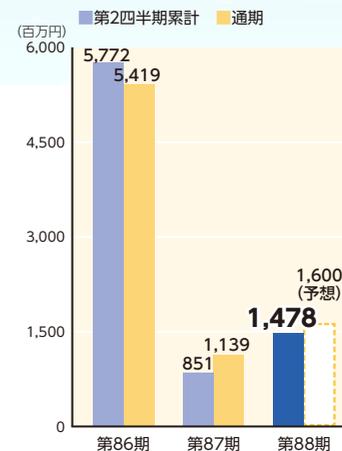
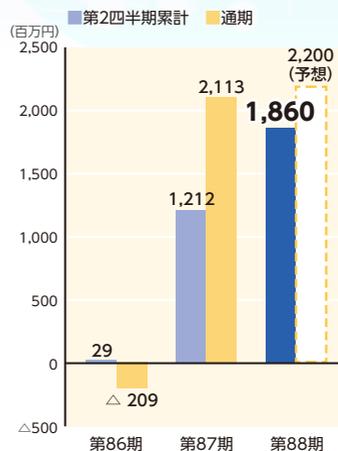
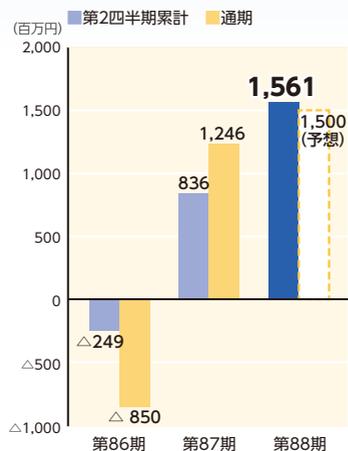
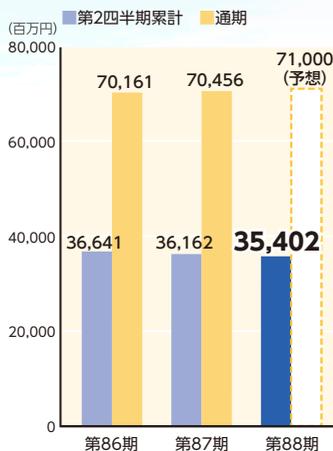
ガラスびん関連事業では、生産増による増益要因や国内燃料価格が引き続き安定したこと、プラスチック容器関連事業では、国内外ともにプラスチックキャップの販売および生産増による増益要因や原料価格が安定したこと、更には、海外子会社の業績が改善したこと等により、営業利益は1,561百万円(前年同期比86.7%増)となりました。

経常利益
1,860百万円

持分法による投資利益は618百万円(前年同期比3.7%増)と増益となったこともあり、経常利益は1,860百万円(前年同期比53.5%増)となりました。

**親会社株主に帰属する
四半期純利益**
1,478百万円

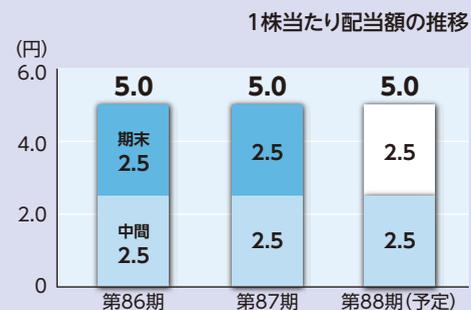
経常利益が増益となったことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,478百万円(前年同期比73.7%増)となりました。



利益分配に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の分配につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならずへの利益還元を努めていきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し、当期(平成29年3月期)の剰余金の配当につきましては、中間配当金を1株につき2.5円とし、期末配当金2.5円と合わせ、通期で5.0円とさせていただきます。



TOPICS

YGQの完全子会社化

この度、中国子会社の秦皇島方圓包装玻璃有限公司(YGQ)の登録資本金のうち持分15.2%を買い取り、完全子会社化としました。

YGQを完全子会社化することで意思決定の迅速化を図り、中国におけるガラスびん事業の更なる基盤強化と、今後伸長が期待される中国国内および輸出市場でのニーズに機動的に対応してまいります。



「グラステック2016」へ出展

9月20日から23日、ドイツ・デュッセルドルフで開催された世界最大の国際ガラス展示会「Glasstec (グラステック) 2016」に出展しました。

4回目の出展となった今回は「Japan's No.1~NYGの高度な軽量化技術~」をテーマに、当社の持つさまざまな技術について総合的に展示しました。

当社ブースには約60社の訪問があり、多くのご質問をいただきました。



「ガラスの作品ドリームコンテスト」の開催

8月1日から31日の応募期間で、今年も「ガラスの作品ドリームコンテスト」を開催しました。「大好きなひとへのプレゼント」と「夏の思い出」の2部門を設定し、今回も多くの楽しい応募作品が集まりました。

受賞者には、当社ガラス工房やまむらの特製ガラス製品などをお贈りしました。

